



## 使いかた 1

お住まいの地域は、どのような災害の危険性があるか確認しましょう

## 使いかた 2

災害ごとに避難のタイミングと避難先を確認しましょう  
大雨で河川氾濫が起きそうなとき (P11「避難フロー」参照)

命を守るための避難行動

原則

浸水が始まる前に **早めの避難！！**

逃げ遅れたら・・・

その場そのときで命を守る場所へ

避難先の優先順位 1

**1 自宅・親戚宅・知人宅・職場など**  
(浸水しない安全な場所)

避難先の優先順位 2

**2 最寄りの避難所**  
(浸水しない安全な場所)

避難先の優先順位 3

**3 最寄りの水害時(津波)避難ビル**  
(浸水しない安全な場所)  
**■高い建物や高い場所**  
(浸水しない安全な場所)

## 使いかた 3

命を守るために、掲載している情報やマイタイムラインを活用し、日頃からの備えを確認



詳しくは、  
大阪市のホームページを  
ご覧ください。



### わが家の避難計画 大雨で河川氾濫が起きそうなとき

記入例

#### 1 避難先

避難先を確認してメモしておきましょう。  
状況に応じた避難先として、避難先①～③のすべてを確認しましょう。

原則

早めの避難先

■自宅・親戚宅・知人宅・職場など  
(最寄りの浸水しない安全な場所)

■最寄りの避難所  
(最寄りの浸水しない安全な場所)

避難先①

〇〇区の祖父母宅

避難先②

〇〇小学校

逃げ遅れたら・・・

その場そのときで命を守る場所へ

■最寄りの水害時(津波)避難ビル  
(最寄りの浸水しない安全な場所)

■高い建物や高い場所(最寄りの浸水しない安全な場所)

避難先③

隣の高層マンション

#### 2 避難を開始するまでに

何をやるかを考えましょう。

#### 3 いつ避難を開始するかいつ何をやるかを記入しましょう。

②で確認した行動を参考にタイミングを確認しましょう。  
③で確認した行動を参考にタイミングを確認しましょう。  
避難のタイミングを書き込みましょう。

#### 情報収集

気象情報・避難情報を確認

#### 避難の準備

非常持ち出し品・備蓄品を確認

必要なものの買い出し

家財等の2階等への移動開始

家の周りの点検

飛ばされそうなものの片付け

窓の施設の確認

携帯電話の充電

避難所の開設状況の確認

#### 連絡・声かけ

近所への声かけ

避難の声かけをする  一緒に避難する

名前: 隣のおじさん

連絡先: (06)xxxx-xxxx

避難の声かけをする  一緒に避難する

名前: \_\_\_\_\_

連絡先: \_\_\_\_\_

家族と連絡を取り合う  
(離れている場合)

避難の支援者に連絡  
(自力では避難が困難な場合)

#### その他

\_\_\_\_\_

#### わが家の避難計画 タイミングを記入しましょう

大雨が予測される時

警戒レベル1  
早期注意情報

警戒レベル2  
洪水注意報  
大雨注意報

警戒レベル3  
危険な場所から  
高齢者等避難!!

警戒レベル4  
危険な場所から  
全員避難!!

警戒レベル5  
緊急安全確保

記入欄 「いつ避難する?」「いつ何をやる?」

例) 非常持ち出し品を確認しておく [お母さん]

・テレビ/ラジオをつける(子どもたち)

・非常持ち出し品・備蓄品を確認する(母)

・避難経路・避難場所を確認する(みんな)

例) 避難場所を再確認しておく [みんな]

・家の周りの点検をする(父)

・三輪車や植木鉢を家の中にしまう(母)

・携帯電話の充電を確認する(父と母)

例) おばあちゃんとお母さんが親戚の家に車で避難する

・家族と連絡を取り合う(みんな) この段階での避難先の目安

・隣のおじさんに連絡する(母) 避難先①,③

・〇〇区の祖父母宅に車で避難する(母と子どもたち)

例) 〇〇小学校へ避難する [お父さんと子どもたち]

・〇〇小学校へ避難する(父) この段階での避難先の目安

避難先①,③

この段階での避難先の目安

避難先③

※災害状況の進展により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。  
状況に応じた柔軟な対応が重要です。

#### 避難完了後

避難後は、家族や大切な人に無事避難したことを伝えましょう

連絡方法: 携帯電話・災害用伝言ダイヤル等

家族の集合場所: 〇〇区の祖父母宅

避難情報が解除されるまでは、避難先からの外出や移動は極めて危険です。